

22110 解剖生理学実験 a、b Anatomical Physiology Laboratory			4 年次 前期 1 単位
担当者	梶田 泰孝	履修可能学科	F 必
		関 連 資 格	管理・栄養・食衛(F)
サブタイトル	人体の構造・機能と疾病の成り立ちの理解を深める		
授業内容 ・ ねらい	人体の構造・機能を知することは健康はもとより、病態やその発症メカニズムなどを理解するうえで、非常に重要であり、必要な知識である。解剖生理学実験では、すでに履修した「解剖生理学Ⅰ・Ⅱ」において講義された内容の更なる理解を目的として授業を行う。内容として人体組織の顕微鏡標本や血球の標本などを用いて実験を進めていく。 また生活習慣病の発症には栄養素の過不足が密に関わっているが、実験動物を用いそれを再現、さらには血液成分などを測定し、結果・考察を含め、疾病に対する理解を深めることも目的とする。		
授業計画	血球および組織標本の観察 1.血球像(赤血球・白血球)および精巣・卵巣の観察 2.肝臓・腎臓 動物を用いた栄養実験 5.動物を用いた研究の理解 6.動物飼育(飼料作成と飼育) 7.動物組織を用いた分析(酵素活性の測定など) 8.考察および発表 動物を用いた実験 3.動物解剖全図の作成 4.消化器系および泌尿器系の作図		
教科書 参考書	授業中に配付するプリントによって授業を行う。		
評価方法	筆記試験、レポート作成、出席状況および授業中の態度を総合し、評価とする。		
事前準備学習 履修条件等			